学校番号	3032B

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「書道Ⅰ」　（東京書籍）						
副教材等	最新ペン習字教範61（日本書写教育研究会）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道Ⅰでは古典の臨書，鑑賞、作品製作などの活動を通して，芸術としての書の美を表現し，鑑賞する能力を伸ばします。さまざまな書に触れながら，書の伝統と文化について考え，書に親しむ心を養い，書の美を味わう感性を豊かにしていきましょう。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して，書に関する見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の 文字や書，書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 書の表現の方法や形式，多様性などについて幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り，書の伝統に基づき，効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
(2) 書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式，書の表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに書の伝統に基づき，作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け，表している。	・書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	漢字の書	・漢字の書体の変遷や日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について幅広く理解し，そのよさや美しさについて学ぶ。 ・楷書，行書，隷書の古典の学習を通して，基本的な点画や線質の表し方，用筆法・運筆法を学ぶ。 ・各古典の表現の違いを理解し，その特徴を時代や人物を通して鑑賞する。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付ける。 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆，字形，全体の構成を工夫しながら表現する。	a：用具・用材の特徴と表現効果との関わり，書体や書風と用筆・運筆との関わりなどについて，書の創造的活動を通して理解を深めている。（知識） a：漢字の書体の変遷や日本及び中国等の文字と書の伝統と文化へ理解，線質，字形，構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについての理解を深めている。（鑑賞・知識） a:古典に基づく基本的な用筆・運筆や古典の線質，字形や構成を生かした表現など，書の伝統に基づき，作品を効果的，創造的に表現するために必要な技能を身に付け表している。（技能） b：古典の書体や書風に即した用筆・運筆，字形，全体の構成，意図に基づいた表現など，書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて創造的に構想し，個性豊かに表現を工夫している。 b:作品の価値とその根拠，生活や社会における書の効用について考え，書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑賞） c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり，主体的に表現と鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品 授業観察	ワークシート 相互評価シート	振り返りシート 作品 授業観察
	篆刻	・篆刻と落款について学ぶ。 ・用具，用材の特徴と表現効果との関わりや書を立体化する刻線のよさや美しさを理解する。 ・表現形式に応じた全体の構成を考えながら字形等を工夫し，白文と朱文で石の印材に落款印を刻す。	a:用具，用材の特徴と表現効果との関わりや書体・書風や配字等による表現の効果を理解している。（知識） a:線質，字形，構成等の要素と表現効果や風趣との関わり，日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。（鑑賞・知識） a:目的や用途に即した効果的な表現の技能，書体，書風，配字等による全体の構成の技術を身につけている。（技能） b：目的や用途に即した表現形式，意図に基づいた表現について構想し，工夫している。 b:作品の価値とその根拠，生活や社会における書の効用について考え，書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑賞） C:主体的に表現と鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品 授業観察	ワークシート	振り返りシート 作品 授業観察

後期	仮名の書	・仮名の成立をはじめとし，日本における仮名の書の伝統と文化について幅広く理解し，そのよさや美しさについて学ぶ。 ・古典の学習を通して，基本的な線質の表し方，用筆法・運筆法を学ぶ。 ・古典や古典に立脚した書作品の表現の技法を理解し，その効果や風趣を味わいながら鑑賞する。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能とその表現技法を身に付ける。 ・古典の作品を基にして，用筆・運筆，行の構成，文字の展開などを工夫しながら表現する。	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり，線質や書風と用筆・運筆との関わりなどについて書の創造的活動を通して理解を深めている。（知識） a:仮名の成立をはじめとする日本の文字と書の伝統と文化についての理解，線質，字形，構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについての理解を深めている。（鑑賞・知識） a:古典に基づく基本的な用筆・運筆や連綿と単体，線質や字形を生かした表現など，書の伝統に基づき，作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け，表している。（技能） b:古典の書風に即した用筆・運筆，字形，全体の構成，意図に基づいた表現など，書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて創造的に構想し，個性豊かに表現を工夫している。 b:作品の価値とその根拠，生活や社会における書の効用について考え，書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑賞） c:仮名の書の伝統と文化に豊かに関わり，主体的に表現と鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品 授業観察	ワークシート 相互評価シート	振り返りシート 作品 授業観察
	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書の変遷をはじめ，名筆を生かした表現や現代に生きる表現など漢字仮名交じりの書の伝統と文化について幅広く理解し，そのよさや美しさについて学ぶ。 ・用具・用材や線質，紙面構成の違いによる表現の効果や広がりについて学ぶ。 ・用具・用材，線質，字形，全体の構成など，効果的・創造的な表現をするために必要な表現技能を身に付ける。 ・自己の表現のねらいを達成するために，自らの表現意欲を高め，用具・用材，線質，字形，全体の構成などを工夫しながら表現する。	a:用具・用材の特徴と表現効果の関わり，名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりなどについて，書の創造的活動を通して理解を深めている。（知識） a:書の伝統的な鑑賞の方法や形態を理解し，線質，字形，構成等の要素と表現効果や風趣との関わりへの理解を深めている。（鑑賞・知識） a:目的や用途に即した効果的な表現や漢字と仮名の調和した線質による表現など，作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け，表している。（技能） b:漢字と仮名の調和した字形，文字の大きさ，全体の構成，目的や用途に即した表現形式，意図に基づいた表現，名筆を生かした表現や現代に生きる表現など，書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し，個性豊かに表現を工夫している。 b:作品の価値とその根拠，生活や社会における書の効用について考え，書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑賞） c:漢字仮名交じりの書の伝統と文化に豊かに関わり，主体的に表現と鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品 授業観察	ワークシート 相互評価シート	振り返りシート 作品 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度